

事務処理欄（記入不要）

受付日	受付No.	応募者 ID	本部/支部/地方	大学院生
			奨学生番号	

公益財団法人 朝鮮奨学会
2016 年度 大学院奨学生 願書^(1/4)

※注意 「記入の手引き」を参照に、必ず本人が記入すること（ワープロ入力も可）。

姓 名	(漢字)	(ハングル)		
		カタカナ読み		
	(通称名)	性 別	☐ 男 ☐ 女	
生 年 月 日	1 9 年 月 日生(満 歳)		出 生 地	都道 府県
国 籍	☐ 韓国 ☐ 朝鮮	渡日 年月	年 月 (日本滞在 年目)	
在 留 資 格	☐ 特別永住者 ☐ 永住者 ☐ 定住者 ☐ 家族滞在 ☐ 留学 ☐ その他 ()			

継 続 | 新 規

タテ 4.5 cm ×ヨコ 3.5 cm

写 真
正面脱帽、6 カ月以内に
撮影した証明写真

写真裏面に姓名・
学校名・学年を記入

在 校 学 名	国立 公立 私立	大学院	学 年 ^(4月現在の学年)
	通学するキャンパスの所在地		博士 修士 専門職 年
研 究 科 専 攻	研究科		専攻
	年 月 入学・編入学		年 月 卒業・修了見込
研 究 テーマ			

現住所	〒 都道 府県	
	(アパート名等)	電 話 番 号
	号室	固定電話 () - 本人携帯 () -
通 学 状 況	①自宅通学 ②自宅外通学：寮・アパート・親類宅・その他 ()	

本 人 以 外 の 連 絡 先 ^(親権者等)	姓 名	本人との 関 係	父・母・その他 ()
	住 所	電 話 番 号	() -

事務処理欄（記入不要）

提出書類のチェック	留学生学推	連絡	受付日	備考
☐ 願書 (1. 2. 3. 4) ☐ 写真 ☐ 研究 (1. 2) ☐ 成績 ☐ 在学 ☐ 推薦 () ☐ 外コピ- ☐ 収入 (A・B) () ☐ 封筒 ☐ チェックシート	☐ 有 ☐ 無	☐ 済 () ☐ 未		

姓 名 []

応募者本人の経歴について

学 歴 (西暦)		*編入学・休学・退学、また日本語学校の在学歴なども正確に記入すること										
年	月	小 学 校	卒業	(所在地)								
年	月	中 学 校	卒業	(所在地)								
年	月	高等学校	卒業	(所在地)								
年	月											
年	月											
年	月	大学	学部	学科入学								
年	月											
年	月											
年	月											
年	月											
年	月											
年	月											
年	月											
職歴・団体役歴・兵役 *できるだけ具体的に記入すること												
年	月～	年	月									
年	月～	年	月									
年	月～	年	月									
年	月～	年	月									
年	月～	年	月									
年	月～	年	月									
<table border="1"> <thead> <tr> <th>母国語理解度 (複数回答可)</th> <th>部 活・サークル</th> <th>資格・免許</th> <th>卒業後の進路 (志望)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 1. 会話が できる。 2. 読み書きが できる。 3. 簡単なあいさつ、単語を 知っている。 4. 理解できない。 </td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>					母国語理解度 (複数回答可)	部 活・サークル	資格・免許	卒業後の進路 (志望)	1. 会話が できる。 2. 読み書きが できる。 3. 簡単なあいさつ、単語を 知っている。 4. 理解できない。			
母国語理解度 (複数回答可)	部 活・サークル	資格・免許	卒業後の進路 (志望)									
1. 会話が できる。 2. 読み書きが できる。 3. 簡単なあいさつ、単語を 知っている。 4. 理解できない。												

学業成績について※小数第2位を四捨五入

▶ 学部生は1年次からのすべての成績。 ▶ 修士課程・専門職課程既修コース(2年制) 1年生は学部時の全学年度の成績、2年生以上 は修士課程・専門職課程の全学年度の成績。 ▶ 博士課程1年生は修士課程の全学年度の成績、 2年生以上は博士課程の全学年度の成績。	成 績			科目数* ×評価点= 計													
	秀、優	S、A	80点以上	× 5 点 =													
	良	B	70～79点	× 3 点 =													
	可	C	60～69点	× 1 点 =													
	合 計			(a) 科目数合計	(b) 点数合計												
*評価が「合格」・「認定」でなされる科目は除く。 …<該当する科目数： 科目>																	
<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">成績評価値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(b) </td> <td rowspan="2">= 点</td> </tr> <tr> <td>(a) </td> </tr> </tbody> </table>			成績評価値		(b)	= 点	(a)	<table border="1"> <thead> <tr> <th>取得単位</th> <th>卒業単位</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td> </td> <td> </td> <td> </td> </tr> <tr> <td>単位</td> <td>単位</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	取得単位	卒業単位	備考				単位	単位	
成績評価値																	
(b)	= 点																
(a)																	
取得単位	卒業単位	備考															
単位	単位																

姓 名 []

家族構成および経済状況（応募者本人は除く）

	続柄	姓 名	年齢	職 業	年間収入（所得）	同居・別居	備考
就学者を除く家族	父				円	同居・別居	
	母				円	同居・別居	
					円	同居・別居	
					円	同居・別居	
					円	同居・別居	
	続柄	姓 名	年齢	学校名	学年	通学別	本会奨学金の応募者に☑
応募者を除く就学者					年	自宅・自宅外	☐ 応募中
					年	自宅・自宅外	☐ 応募中
					年	自宅・自宅外	☐ 応募中
					年	自宅・自宅外	☐ 応募中
					年	自宅・自宅外	☐ 応募中

上記家族のうち主たる家計支持者について

続柄	姓 名	職業（会社名・業種・職責）	自営の場合 従業員の数	年間収入（所得）
				円

応募者本人の経済状況（年額）

	項目	自宅生	自宅外生
収入	家族からの援助（学費を除く）	円	円
	アルバイト	円	円
	奨学金	円	円
	その他（ ）	円	円
支出	授業料	円	円
	家賃（光熱費を除く）	記入不要 円	円
	その他（ ）	円	円

今年度 他の奨学金への応募・受給について（学内奨学金は除く） ①あり ②なし

奨学金名称	金額（月額）	形態	受給期間	審査決定時期
	円	給付・貸与	年 月～ 年 月	年 月
	円	給付・貸与	年 月～ 年 月	年 月
	円	給付・貸与	年 月～ 年 月	年 月

過去の本会奨学金への応募・受給について（該当する箇所には○をしてください）

応募	2015 年度	2014 年度	2013 年度	本会 奨学金 受給歴	高校 年間	学部 修士（専門職） 博士	年間
受給	2015 年度 （奨学生番号）	2014 年度	2013 年度				年間 年間

奨学金応募理由

姓 名	大 学 名	学部／研究科	課 程	学 年
			博士・修士・専門職 学部・短大	
奨学金応募の理由（家庭事情等を具体的に記入すること）				
入学の動機、学業状況、大学生活の目標と進路、自己PR等（写真等の貼付可）				

研 究 計 画 書 (大学院生のみ提出すること) 1/2

[ワープロ入力推奨]

年 月 日 記入

姓 名	大 学 名	研 究 科 名	課 程	学 年
			博士 修士 専門職	
研究テーマ				
研 究 計 画 ・ 研 究 状 況	①研究目的 ②研究方法 ③その他(研究状況など)の項目を立て記入すること ※研究計画書(1/2・2/2 共に)にはフォントサイズ 10.5pt で記入すること。 また、英語で記入する場合は日本語訳を添付すること。 ※専門職課程の在籍者は上記に限らず学習の計画・状況を記入すること			

研 究 計 画 書 (大学院生のみ提出すること) 2/2

姓名[] 大学名[] [ワープロ入力推奨]

研 究 業 績	I. 学会発表、論文投稿等の業績 ・国内発表 ____回 (口頭 ____回 / ポスター ____回) ・海外発表 ____回 (口頭 ____回 / ポスター ____回) ・論文 掲載済 国内誌 ____本 / 海外誌 ____本 投稿中 国内誌 ____本 / 海外誌 ____本		
	II. 学会発表、論文投稿等の主要業績 (3件まで) 注意： ●補記したい場合は、本紙を複写または本紙項目に準じて自作し提出すること。 ●学術誌が主たる業績発表の場でない分野の場合、論文に相当する業績について記入すること。 ①分類記号を明記すること。 A. 論文 (掲載済・決定・投稿中を区別) B. 学会発表 (口頭・ポスターを区別) C. 学会・会議等の報告集 D. 作品発表等 E. その他 ③共同研究の場合はすべての著者名を明記し、本人に下線を引くこと。ただし著者が3名を超える場合は本人を含む3名まで明記し、その他○名とする。また、本人が corresponding author の場合は明記すること。 ⑧学術誌等への既発表論文がある場合は代表的なもの1編の別刷りを添付(複写可)し、その旨を明記すること。 また作品やその写真・資料等を別添する場合も、その旨を明記すること。		
	①分類 ②論文名 ③著者 ④掲載・発表年月日 ⑤発行所、発表誌、発表学会及び開催場所 ⑥巻・号・頁 ⑦査読の有無 ⑧備考 の順に記入すること。		
論 文 題 目	博 士 論 文		
	修 士 論 文		
	学 部 論 文		
指導教員名		指導教員の 研究テーマ	

年 月 日

公益財団法人 朝鮮奨学会 宛

学 校 名

所 在 地

推 薦 者 署 名 _____ (印)
(職 責)

推 薦 書

奨学生としてふさわしい学生と認め、下記の者を推薦します。

応募者姓名			年 月 日生 (満 歳)			男・女	
大学			学 部 研究科			学 科 専 攻	
課 程	博 士 修 士 専 門 職 学 部	年	年 月 入学・編入学				
			年 月 卒業・修了見込				
所 見							

※親展にして下さい。
※この推薦書で得た個人情報は、選考以外の目的には使用しません。

特別永住者証明書・在留カード（外国人登録証明書）のコピー貼付台紙

特別永住者証明書・在留カード
（外国人登録証明書）のコピー

【おもて面】

特別永住者証明書・在留カード
（外国人登録証明書）のコピー

【うら面】

※変更記載がなくても貼付してください。

※応募者本人の国籍及び在留資格が表示されている「住民票」も可（発行されて3カ月以内のもの。コピー不可）。

※外国人登録証明書の有効期限が切れている場合は、「住民票」を提出すること。

※「住民票」は外枠内に貼り付け、はみ出る場合は折りたたむこと。

収入等に関する調査書A

-特別永住者等（永住者、定住者、家族滞在などを含む）の応募者用-

年 月 日 記入

姓 名	大 学 名	学 部 / 研 究 科	課 程	学 年
			博士・修士・専門職 学部・短大	

のり貼付箇所

収入・所得を証明する書類（2015 年（平成 27 年）1 月～12 月分）

※主たる家計支持者の「収入等に関する書類」を貼付けてください。

※貼付けた証明書類と願書 3/4 で記した主たる家計支持者の姓名が異なる場合は理由を記入して下さい。

理由（例：父 金大新→通称名 金本大新）

		提出書類	発行機関等	応募者との続柄
1)	給与所得者 (パート・アルバイト含む)	源泉徴収票	勤務先	父・母 他 ()
2)	自営業者	確定申告書(控) ^{※1}	税務署	父・母 他 ()
3)	年金受給者	年金交付通知書 ^{※2}	社会保険庁	父・母 他 ()
4)	生活保護扶助費受給者	保護決定(変更) 通知書	福祉事務所	父・母 他 ()
5)	2015 年に於いて 収入がない者 ^{※3}	所得証明書 (課税・非課税証明書)	市区町村役場	父・母 他 ()

*表中 1) ～4) はコピー可、5) はコピー不可。

- ※ 1 税務署の受付印があるものに限る。電子申請を行った場合は、「申告内容確認票」のコピー、または「受信通知」（「メール詳細」も可）か「電子申告等データ」に限る。
- ※ 2 「年金振込通知書」、「年金額改定通知書」、「公的年金等源泉徴収票」でも可。
- ※ 3 2015 年 1 月～12 月の収入がない者、または収入・所得を証明する書類が提出できない者に限り、前年の所得証明書（課税／非課税証明書など 2014 年 1 月～12 月の所得を証明する書類）でも可とする。

※貼付が難しい（確定申告などが複数枚）場合は、本用紙と書類をホッチキスで留めてください（クリップは不可）。

収入等に関する調査書B

-在留資格が「留学」の応募者用-

※主たる家計支持者が日本国内で就労している場合は、「調査書A」を提出すること。

姓 名	大 学 名	学部/研究科	課 程	学 年
			博士・修士・専門職 学部・短大	

◇家族の経済状況

	続柄	姓 名	年齢	職業（会社名・業種・職責）等※2	年間収入※3
家計支持者※1	父				円
	母				円
					円
					円
					円

※1 本人と同一生計で収入・所得がある家族全員を記入すること（本人及び既婚の兄弟姉妹（別生計）を除く）。ただし応募者本人が主たる家計支持者の場合は、本人のものを記入し、既婚の場合は配偶者も記入すること。

※2 アルバイト、年金などの収入がある場合はその旨を職業欄に記入すること。

※3 給与所得者（会社員・アルバイト等）は収入、給与所得者以外（自営業者等）は所得（収入から必要経費を差し引いた額）、年金受給者等は収入（控除前の額）とし、昨年（2015年1月1日～12月31日）の金額を記入すること（応募時点の為替レートで換算し、円で記入）。

以上のとおり記載事項に相違ありません。

年 月 日

本人 姓名 _____（自署）

応募書類 チェックシート (2016 年度)

このチェックシートも他の応募書類と一緒に提出すること。

姓 名	大 学 名	課 程	学 年
		博士・修士・専門職 学部・短大	

提出する書類に漏れがないかを確認し、チェック欄に○をすること。

チェック	応募書類	
①	願書 1/4 及び 写真	
	願書 2/4	
	願書 3/4	
	願書 4/4	
②	研究計画書(大学院生のみ) 1/2 と 2/2	
③	在学証明書	
④	学業成績証明書	
⑤	推薦書 ※学部生の継続応募者は不要。	【応募期間内に提出できない理由】
⑥	特別永住者証明書・在留カード (または外国人登録証明書)の表裏コピー ※住民票の場合は国籍・在留資格が表示されているものに限る。	
⑦	「収入等に関する調査書 A」 － 特別永住者等 (永住者、定住者、家族滞在などを含む)	【応募期間内に提出できない理由】
	「収入等に関する調査書 B」 － 留学生のみ ※主たる家計支持者が日本国内で就労している場合は、 「調査書 A」を提出すること。	
⑧	返信用封筒 (92 円切手を貼ること) 1 通	

特記事項－願書、研究計画書(大学院生)は、応募者本人が記入すること。

－応募書類の記入内容に虚偽があることが判明した場合は、選考結果が取り消されることがあるので正確に記入すること。

－応募書類の不足、記入不備等がある場合は、選考の対象外となる。

－ 本会より不足書類の督促は原則行わないので注意すること。

－「推薦書」と「収入等に関する調査書」に限り、提出が遅れる場合は

5 月 9 日 (月) までに必ず提出すること。

※消印有効。締切日当日または前日の場合は速達にすること。

※封筒に応募者本人の姓名・大学名・学年を記入すること。

公益財団法人 朝鮮奨学会 大学・大学院奨学金 応募書類記入の手引き（2016 年度）

※記入全般の注意：原則として黒のボールペン等を使用し、日本語で記入すること（ワープロ入力も可）。

① 願書（本会所定様式 4 ページ）

◇1/4 ページ	
・ 姓名	ハングル表記およびハングルのカタカナ読みがわからない場合は空欄のままでよい。 通称名で通学している場合は、通称名欄にも記入すること。
・ 出生地	都道府県名を記入し、本国の場合は道または市を記入すること。
・ 渡日年月	日本以外の国で出生した人は必ず記入すること。
・ 在留資格	特別永住者証明書、在留カード（または外国人登録証明書）を参照し、該当する 個所に☑すること。
・ 在学学校名	略さずに正式名を記入すること。
・ 写真	証明写真の裏面に姓名・学校名・学年を記入すること。
・ 学年	大学院生の学年は5年一貫博士課程（前・後期制）の場合でも、修士課程、博士 課程の該当年次で記入すること。
・ 現住所	応募者本人が居住する住所を記入すること。 寮、アパート、マンション名と居住する部屋の号室を必ず記入すること。
・ 本人以外の連絡先 （親権者など）	応募者本人の親権者（またはそれに準ずる者）の連絡先を必ず記入すること。
◇2/4 ページ	
・ 母国語理解度	母国語とは、韓国語・朝鮮語のことである。 該当する番号に○をつけること（複数回答可）。
・ 学業成績	算定表で正確に計算したうえ、記入すること。 大学院生で、単位制でない場合はその旨を備考欄に記入すること。
◇3/4 ページ	
・ 家族構成および 経済状況	応募者が既婚の場合は配偶者と子についても記入すること。
・ 同居・別居	応募者本人ではなく、「主たる家計支持者（父母等）」から見た場合を記入すること。
・ 主たる家計支持者	同一生計家族のうち、父母またはこれに代わって家計を支えている者のうち、 収入・所得金額が最も高い者。
・ 年間収入・所得	* 給与所得者（会社員等）の場合には「源泉徴収票」の支払金額を記入すること。 * 給与所得以外（自営業等）の場合には「確定申告書」等の所得金額を記入すること。 * 年金受給者の場合は市町村役場発行の「年金交付通知書」、「所得証明書（課 税/非課税証明書など）」の総支給額を記入すること。 * 生活保護受給者はその年額を記入（「職業」欄に年金または生活保護と記入） すること。 * 応募者本人が主たる家計支持者の場合は、本人のものを記入すること。
◇4/4 ページ	
・ 奨学金応募理由	自己PR等において、美術系の専攻者は、作品の写真等を貼付すること。

② 研究計画書（本会所定様式 2 ページ）

③ 在学証明書（2016 年 4 月 1 日以降発行のもの。コピー不可。「学生証」のコピー不可。）

④ 学業成績証明書（「成績通知書」は不可）

- ・修士課程 1 年生（専門職課程既修コース（2 年制）1 年生）は学部時の全学年のもの、博士課程 1 年生は修士課程時の全学年のもの。

※大学院生で今年度入学の留学生は、入学時に在籍大学に提出した成績証明書の複写でもよい。

※編入学・学士入学した者は、前大学の成績証明書と同時に現大学の単位認定書を添付すること。

※前年度に交換留学等をしていた者は、留学中の成績が現大学で単位認定（成績評価）されたものを提出すること。

⑤ 推薦書（本会所定様式：必ず親展にすること）

- ・学部生は、学部長、指導教員、クラス担任、奨学金担当者、いずれかの推薦書を提出すること。
- ・大学院生は、現指導教員の推薦書を提出すること。指導教員がいない場合は上記と同じ。
- ・**学部生の継続応募者は推薦書不要。**

⑥ 特別永住者証明書・在留カード（または外国人登録証明書）の表裏コピー（本会所定様式）

- ・本会所定用式に貼り付けること（拡大コピー不要）。
- ・市区町村役場で発行される応募者本人の国籍及び在留資格が表示されている住民票（発行されて 3 か月以内のもの）も可。コピー不可。

⑦ 収入等に関する調査書（本会所定様式）

本会所定用式に「収入等に関する書類」を貼り付けること。

「収入等に関する書類」は、主たる家計支持者のものを提出すること。

A 特別永住者等(永住者、定住者、家族滞在などを含む)の場合

－給与所得者は「源泉徴収票」（2015 年 1 月～12 月分）

－給与所得者以外は「確定申告書（控）」（2015 年 1 月～12 月分・税務署の受付印があるもの）のコピー。

電子申請を行った場合は、「申告内容確認票」のコピー、または「受付通知」（「メール詳細」も可）か「電子申告等データ」を貼付すること。

－年金受給者は、「年金交付通知書」（「年金振込通知書」「年金額改定通知書」「公的年金等源泉徴収票」でも可）または前年の所得証明書（課税/非課税証明書など 2014 年 1 月～12 月の収入・所得を証明する書類）でも可。

－生活保護受給者は、「保護決定（変更）通知書」または前年の所得証明書でも可。

－2015 年に於いて収入がない者は、前年の所得証明書を貼付すること。

※特別永住者等であっても、主たる家計支持者が日本国以外で働いている場合は、「収入等に関する調査書 B」の提出でも可とする。

B 留学生の場合

「収入等に関する調査書 B」を提出すること。

※在留資格が「留学」であっても、主たる家計支持者が日本国内で働いている場合は、「収入等に関する調査書 A」を提出すること。

⑧ 返信用封筒

長形 3 号の封筒（23.5×12.0cm）に応募者の住所、姓名を記入し、92 円切手を貼付すること。

※返信用封筒は「応募書類を郵送する前に確認してください」にある宛名ラベルを使用して作成すること。

⑨ 応募書類チェックシート（本会所定様式）

応募書類がすべて揃っているか確認し、チェック欄に○をつけること。

やむを得ない事情により、「推薦書」「収入等に関する調査書」の提出が遅れる場合は、その理由を具体的に記入すること。

応募書類を郵送する前に必ず確認してください

書類の確認	チェック欄
①願書 1～4 ページ 揃っていますか？（記入漏れや写真の貼り忘れはありませんか？）	☐
②研究計画書（大学院生のみ）2 ページ 揃っていますか？	☐
③在学証明書（学生証ではありません）はありますか？	☐
④学業成績証明書（成績通知表ではありません）はありますか？	☐
⑤推薦書はありますか？ （遅れる場合、チェックシートに理由を書きましたか？） ※学部生の継続応募者は不要。	☐ (☐)
⑥特別永住者証明書・在留カード（または外国人登録証明書）の表裏コピーはありますか？	☐
⑦収入等に関する調査書 A（特別永住者など）、B（留学生）はありますか？ （遅れる場合、チェックシートに理由を書きましたか？）	☐ (☐)
⑧返信用封筒（長形 3 号、1 通）はありますか？ 返信用封筒ラベルに住所・姓名を記入し封筒に貼り付けましたか？ 92 円切手を貼りましたか？	☐ ☐ ☐
⑨応募書類チェックシートはありますか？	☐

返信用封筒ラベル

必ず応募者（学生）の住所・姓名を記入して下さい。

見本 →		〒	—
		住所	
		姓	貴下
		名	(通称名) _____

書類の郵送用ラベル

※角 2 サイズの封筒に応募書類を同封して、関西地域（大阪・京都・兵庫・滋賀・奈良・和歌山）の大学に在学している人は関西支部に、それ以外の地域は本部に提出してください。

◇本部宛

◇関西支部宛

〒160-0023 東京都新宿区西新宿 1-8-1 新宿ビル 9 階 公益財団法人 朝鮮奨学会 奨学部 宛 2016 年度 大学・大学院奨学生応募書類在中	〒536-0007 大阪市城東区成育 5-22-10 公益財団法人 朝鮮奨学会 関西支部 宛 2016 年度 大学・大学院奨学生応募書類在中
--	---